



中部農林だより

元気の芽



「おいしさ日本一」の証明！

「宮崎じゃない？ 宮崎じゃない?!」

審査員が立ち止まれば優等賞1席。緊張感ただよう会場。そしてワーという歓声とともに割れんばかりの拍手が鳴り響く。抱き合って喜びを分かち合う「チーム宮崎」関係者。

10月6日(木)から10日(月)までの5日間、鹿児島県で5年に1度の和牛のオリンピック「第12回全国和牛能力共進会(全共)」が開催されました。

「日本一の努力と準備」で臨んだ本県からは、8区分22頭が出品され、うち7区分で優等賞首席や2席を獲得するという快挙でした。

管内では、第5区に出品された増田純一さん・裕輔さん・くるみさん(宮崎市)の「ひかる1」「ひかる12」「ひかる127」が堂々たる立ち姿で、見事、優等賞2席という素晴らしい成績となりました。

また、「肉牛部門」第7区では、靱木武敏さん(国富町)生産の第5安栄が種雄牛である県代表牛が最高賞である内閣総理大臣賞を獲得。見事、史上初となる4大会連続、宮崎牛「おいしさ日本一」が証明されました。



第5区の増田さんら



第6区種牛群で1位となった瞬間



同時に開催された「和牛フェス」本県PRブースも大いに盛り上がりました

関係者の皆様
本当におめでとうございます！

食べて応援！宮崎牛

11月9日、肥育牛販売時の所得悪化時に発動される「牛マルキン」の9月販売分の発動が公表されました。8月販売分に続き2か月連続となります。

今、新型コロナによる会食の減少に加え、燃料や飼料価格高騰などの影響で、生産者の置かれる環境は大変厳しいものとなっています。

「おいしさ日本一」の宮崎牛をたくさん食べて、生産者の皆さんを応援しましょう。

[農畜産課]



写真：JA宮崎中央ホームページより

台風14号

令和4年9月18日(日)に非常に強い勢力で鹿児島市に上陸した台風14号は、九州を縦断する形でゆっくりと北上し、県内全域に甚大な被害をもたらしました。

中部地区における農林業の分野でも、冠水により、定植直後の施設園芸ハウスの農作物、収穫を間近に控えた水稻、農機具等の損害や、林道の法面崩落、停電による林産物の死滅等の被害がありました。

被災された皆様の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。



被災した生産者を河野知事が訪問



冠水により、施工中の宮王丸高架橋付近の一面の農地が湖と化した



冠水したJA宮崎中央家畜市場。機材等は被災したが、牛舎の牛は無事だった



冠水により倒壊した稲



泥水により被害を受けた人参やピーマン

磯平地区工事安全祈願祭

昨年9月16日の台風14号の影響により、JR小内海駅周辺で発生した土砂崩れの本格的な法面工事が始まるのを前に、10月12日(水)、受注された3社による安全祈願祭が執り行われました。

地域の安全・安心のため、早期完了が期待されます。

[林務課]



鳥インフルエンザへの備え

10月21日(金)、宮崎県防災庁舎において、高病原性鳥インフルエンザ防疫研修会が開催され、中部管内の県出先機関やJA等の職員等が参加しました。

今回の研修では、万が一、鳥フルが発生した際に迅速に対応できるよう、宮崎家畜保健衛生所、中部農林振興局職員による説明や防護服の着脱実習を行いました。

また、消毒ポイントで使用する動力噴霧機や発電機の操作や、ドライバーへの聞き取りの演習を行いました。

今シーズンは例年より早く、9月には国内野鳥での感染が確認され、10月以降は岡山県の初発以降、家きんでもすでに11件(11月18日現在)発生しています。また、県内でも11月6日に野鳥での感染が確認されており、家きんでの発生リスクも非常に高くなっております。

まずは発生させないために、11月17日(木)には、養鶏農家の皆様に消毒用消石灰を配布しましたが、万が一発生したときは迅速な対応を行っていきます。



動力噴霧機の操作。凍結に注意しながら、タイヤ回りを中心に丁寧に消毒します



農場で着用する防護服着脱実習。農場で着用する防護服着脱実習。隙間なく着用し、脱ぐときは念入りに消毒します



ドライバーから積み荷や行き先等を聞き取ります



養鶏農家への消石灰配布

[農畜産課・総務課]

靴底消毒など、家畜防疫の徹底をお願いします



肥料価格高騰対策

価格高騰

肥料価格の高騰による農業経営への影響を緩和するため、化学肥料の低減に取り組む農業者への肥料費の支援を行っています。

10月下旬から11月上旬まで、秋肥分(6月~10月注文分)の受付が行われ、春肥分(11月~5月注文分)についても、後日実施されることとなっています。

[農畜産課]



受付の様子

(国) 肥料価格高騰対策事業 **R4秋肥分 (支援金の算出)**
(県) 肥料価格高騰対策支援事業

肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和のため、化学肥料の低減に向けて取り組む農業者の肥料費を支援します。

支援金算出の方法

○化学肥料低減の取組を行った上で前年から増加した肥料費について、国がその7割を、県が1.5割を支援します(国+県=8.5割の支援)。

$$\text{支援金} = \left[\begin{array}{l} \text{当年の肥料費} \\ \text{(税込)} \end{array} - \begin{array}{l} \text{当年の肥料費} + \text{価格上昇率} + \text{使用量低減率} (0.9) \\ \text{(税込)} \quad \text{(秋肥: 1.4)} \end{array} \right] \times 0.85$$

※ 県の支援については令和4年9月末時点で秋肥分のみが決定しています。
 ※ 価格上昇率は物価統計等に基づき国が決定します。R4秋肥分は1.4倍で、R5春肥分については別途決定されます。

事業の情報はこちら→



安定した水の供給のために ～水管橋架設～

宮崎市田野町に位置する村内地区では、47.2haの農地へ安定的に水を供給するため、河川と天神ダムを水源とする用水路の整備を進めてきました。

水源毎に取水方法が異なり、河川は頭首工、天神ダムはパイプラインによる取水を行っています。

今回はパイプライン整備の一環で架設した水管橋の紹介をします。

一般的にパイプラインが河川等を跨ぐ場合は、最寄りの道路橋等に添架することが多いのですが、当現場では、最寄りの道路橋の老朽化が著しく、添架が困難だったことから、水管橋を架けることとしました。

施工当日は、地元の方々も見守る中、160ton吊り級クレーンがゆっくりと水管橋を持ち上げ、慎重に作業が進められました。

今後の事業進捗の大きな一歩となりました。



令和4年度 優良工事表彰 「発注機関長賞」表彰式

県では、工事成績が優秀であり、かつ他の工事の模範となる取組を行った工事を「優良工事」として表彰しています。

今年度は、令和3年度に完成した中部農林振興局及び宮崎土木事務所発注の188件の工事の中から、**発注機関長賞**として**5件**の工事が選ばれ、8月23日(火)に表彰式を開催しました。

受賞された方々には、日頃からの工事に対する意欲や向上心の高さに深く敬意を表します。今後も他の工事の模範として、一層の御活躍を期待しています。



中部農林振興局長賞

開地建設興業(株)、溝口建設(株)

宮崎土木事務所長賞

シオハタ工業(有)、(株)鈴木組、(株)田村産業



大迫ため池(宮崎市南方)堤体及び取水施設改修工事
施工:開地建設興業(株)



山腹工(宮崎市鏡州小平地区)
施工:溝口建設(株)

職種を超えた連携を目指して ～中部地連協現場研修会～

10月18日(火)、中部地連協現場研修会を実施しました。この研修会は、行政課題が複雑多様化する中、分野横断的な連携・協働を進めるための職員の資質向上と視野拡大を図ることを目的として開催しているものです。

今回の研修会では、水産試験場、身体障害者相談センター、高岡土木事務所、(株)加藤えのき(中部農林振興局の事業関連)の協力を得て、それぞれの現場を視察しました。

積極的な質疑応答や意見交換により、大変有意義な研修会となりました。

身体障害者相談センター



想像以上に難しいです...

電動車椅子の体験や補装具に触れるとともに、気づかれにくい障がいのひとつである高次脳機能障がいについて学びました

高岡土木事務所 宮王丸高架橋(国富町)



施工中の橋の上で、景観に配慮した施工や地元中学生が揮毫した欄干の説明を受けました

水産試験場 漁業調査取締船「みやざき丸」



重!!

船員の皆様から、本県の漁業を支えている「みやざき丸」の業務について説明を受けました

実物大のかつお一本釣りも体験

(株)加藤えのき(高岡町)



その規模は西日本最大級!! 独自の技術により、高い目標を持って業界を牽引される皆様の熱意に感銘を受けました

研修での「気づき」を活かし、広い視野をもって業務に取り組んでいただくことを期待します。

中部地連協の紹介 No.7

中部地方連絡協議会（中部地連協）は、中部地区にある県の出先機関の連絡を密にし、地方行政の総合的運営を図るために設置された組織で、37の機関から構成されています。

今回は、取引などにおける適正な計量の実施を確保する「計量検定所」と全県レベルの中核病院として高度医療を提供する「県立宮崎病院」を御紹介します。

計量検定所

計量検定所は、計量に関する検定や検査、事業所の登録など計量に関する様々な業務を行っています。計量は、我々の生活においてとても大切な役割を果たしていますので、是非みなさんに計量検定所の業務を知っていただきたいと思います。



建物外観

定期検査

計量法上では、取引や証明行為に使用するはかりは2年に1回の定期検査を受検しなければなりません。受検方法には、県が行う集合検査と、国家資格を持った計量士による検査があります。

それに該当するはかりの例として、スーパーや薬局で使用されるはかり、健康診断で使用される体重計などがあります。



はかりの検査

タクシーメーター装置検査

タクシーメーターは1年ごとに検査を受けなければなりません。宮崎市内のタクシーは、基本的には計量検定所にある検査棟において検査を行います。それ以外のタクシーは、計量検定所の職員が各タクシー会社に出向いて現地で検査を行います。



タクシーメーター装置検査

燃料油メーター検定

ガソリンスタンド等にある給油メーターも、その精度を確保するため検定を受けなければなりません。検定は、計量検定所の職員が県内各地のガソリンスタンド等に出向いて現地でいきます。



燃料油メーター検定

安心して買い物したり、ガソリンスタンドやタクシーを利用できるのは、正確性が確認されているからなんだね！



計量ひろば

11月1日は計量記念日とされています。

計量記念日に合わせて「計量ひろば」というイベントを開催しています。計量に関するゲームなどを通じて「はかる」大切さを実感できるものとなっています。ゲーム参加者には景品もある楽しい内容となっています。



計量ひろば



県立宮崎病院



県立宮崎病院は、旧病院の老朽化などに伴い、令和元（2019）年5月に新病院棟などの移転新築工事に着手。令和3（2021）年9月に完成し、令和4（2022）年1月11日から新病院での診療を開始しました。

今回は、新病院整備基本方針の4つの柱に沿って新病院の主な機能を紹介します。

1 診療機能を効率的に発揮できる病院

各フロアの機能や位置付けを明確にし、必要な機能を集約しました。

例えば1階には、救急医療の最前線となる救命救急センターとの緊密な連携が求められる放射線診断部門を配置。3階には手術室や集中治療室のほか、臨床工学部門や中央材料滅菌部門などを集中させ、高度急性期医療の中核としての機能を向上させました。5階には産婦人科病棟に加え、産科外来や小児科病棟などを集め、充実した周産期医療を提供します。

病棟は、2つの病棟のスタッフステーションを一体化した「2 in 1 病棟」を採用。注射液や薬液を準備するスペースや廃棄物庫を共有することで、業務の見直しやスペースの有効活用を図りました。スタッフステーションはフロア全体が見渡せる場所に設け、より目が届きやすくなりました。

また、病室は1部屋4床とし、患者の状態に合わせてベッド配置を自由に変更できるよう工夫を施しました。



2 安全・安心で災害に強い病院

「基幹災害拠点病院」として、非常時にも医療機能を低下させない病院を目指しました。免震構造の病院棟には屋上にヘリポートを設置し、災害時の患者収容能力などを強化。洪水を想定し、敷地を周辺よりも約1.5m高くしました。また、複数の非常用電源で電力を確保し、医療用ガスは10日以上を備蓄できます。

3 患者・家族などの利用者の視点に立った病院

患者やその家族により親しみやすくするため、フロアレイアウトなどを工夫。県産材を使用した1階のエントランスホールを中心に、総合案内や講堂、売店などを配置し、利便性を高めました。2階の総合受付と総合待合、外来に関連する化学療法センターなどを一つの動線に沿って移動できるよう配置し、どなたでも移動しやすいようにしました。また、プライバシー確保のため、個室病床も多く設けています。

4 環境に優しくコストパフォーマンスの高い病院

建設に当たっては、設計段階から徹底したコスト削減を図りました。環境への配慮として、建物の熱源には電力、ガス、オイルといった複数のエネルギー源を使うなど省エネに努めています。

コロナ禍でも継続した医療を提供

新病院には第二種感染症病床6床のほか、救命救急センターや集中治療室、小児科病棟などに陰圧機能を持たせた部屋を設けたほか、入院患者専用の出入口と感染症病床が直結するエレベータを整備するなど、感染症対策の機能強化を図っています。

移転直後から新型コロナウイルス感染症の入院患者を多数（10月末現在で延べ496人）受け入れていますが、大規模な院内感染もなく、一般医療や救急医療を継続できているのも、今回整備した様々な設備によるものと考えています。

新病院に整備した医療機器の大きな目玉である手術支援ロボット。従来より傷口が小さく、出血量や痛みの少ない低侵襲手術が可能に。身体的・精神的な負担が少なく、早期に退院できるなどの効果が期待できます。



病院の理念「地域とともに歩み、良質で高度な医療を提供する、患者様中心の病院」を目指し、今後も県民の期待に応えるべく職員一同邁進していきます。

新規採用職員を紹介します

担当業務を教えてください

金政 | 農業用ため池の整備を行う、ため池等整備事業（権現新地区）と農地・農業用施設の災害復旧事業に関することを担当しています。

松崎 | 農業経営体（作物）の育成や、作物の技術・経営に関する対応・指導を担当しています。また、農薬試験や管内における水稻品種の生育調査もしています。

川口 | 園芸経営担当で、主に施設野菜（きゅうり、ピーマン、ミニトマト、いちご など）を担当しています。

まだまだわからないことも多いですが、少しでも早く一人前の県職員になれるように頑張りますのでよろしくお願いします。

農業経営課
農畜産経営担当

松崎巧真 技師



大の車好き！車いじりが趣味です。休日は車のドレスアップやチューンアップをはじめ、自分好みの車に仕上げるためカスタムを楽しんでいます。

先輩方を見習って、一生懸命に頑張ります。よろしくお願いします。

農村整備課
農地防災担当

金政紘世 技師



趣味は体を動かすことです。休日には友人とスポーツをすることでリフレッシュを行いよりよい仕事ができるように体を動かしています。

県庁生活はいかがですか？

金政 | 少しずつコロナが収まりつつあり、研修や会食などが増えてきており、また、新規アドバイザー研修等で同期と知り合う機会もあり良かったです。

松崎 | 新型コロナウイルスの影響で、同僚や同期と接する機会を作ることがあまりできない状況が続きましたが、ようやく最近、自治学院研修をはじめ、様々な研修を通して多くの同期や先輩方と接することができました。

今後も人とのつながりを大切にして県庁生活を過ごしていきたいです。

川口 | 10月上旬の新規採用職員研修が印象に残っています。4月の研修では、全体的に緊張感があり少しかたい印象でしたが、10月の研修では、それぞれの所属の雰囲気を感じられたように思います。6か月という短い期間ですが、思った以上に皆それぞれの職場に馴染んでいるのだなと思いました。

今後の目標を教えてください

金政 | 何事も初めてなので分からないことがあった場合は先輩方や上司に聞いたりして自身のスキルアップに努めていきたいです。

松崎 | 今は、どの仕事も初めてすることばかり、先輩の指導の下、業務に取り組んでいます。

農業者の生産力や所得の向上のため、的確な指導や助言ができるようになることを目標に、信頼される県職員になりたいです。

川口 | 今は初めてのことばかりで、上司や先輩方に助けていただきながら業務を進めていますが、まずは、自分でしっかり考え、適切な情報を提供できるようになることを目標に成長していきたいです。

業務については勉強の日々ですが、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

農業経営課
園芸経営担当

川口あす美 技師



普段はインドア派ですが、夏の間は週に1回程度、アカウミガメの産卵調査に参加しています。宮崎の自然を感じられる良い機会になっています。